

《履修上の留意事項》面接授業と対面授業

《担当者名》○奥田かおり 片山寛信

【概 要】

対人援助の仕事に携わるとき、対象となる家族の理解は必要不可欠となる。個人や社会の構成単位としての家族を理解するために、家族研究の基礎理論やデータをもとに現代社会の家族について社会学、家族関係学の視点から考える。

【学習目標】

専門職として多様な家族への援助を考えるために、家族内の問題を社会的要因との関連で理解することができる。
多様な家族への支援方法を知る。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション 家族とは(1)	受講上の諸注意、家族のイメージ、家族の定義	奥田
2	家族とは(2)	日本の家族、世界の家族、「家族」に関する価値観の違い	奥田
3	家族とは(3)	家族の始まり、家族計画、結婚	奥田
4	現代家族がかかえる問題(1)	子育てストレス、育児不安、離婚、ひとり親家庭 障害を持った子どものいる家族	奥田
5	現代家族がかかえる問題(2)	ドメスティックバイオレンス、虐待、	片山
6	現代家族がかかえる問題(3)	児童虐待	片山
7	ジェンダー論と家族関係	社会的性差と生物学的性差 ジェンダーの形成	奥田
8	家族支援(1)	家族支援はなぜ必要か？ 親であること 子どもの権利からみた家族支援の必要性	奥田
9	家族支援(2)	支援を必要とする家族・子ども	奥田
10	家族支援の方法(1) 実践編	家族アセスメント：当事者研究を使った情報収集	奥田
11	家族支援の方法(2) 実践編	グループワーク：家族エンパワメントのグループワーク	奥田
12	家族支援の方法(3)	システム論、家族療法	奥田
13	家族ソーシャルワーク(1)	事例検討 家族の状況を把握する アセスメント	奥田
14	家族ソーシャルワーク(2)	事例検討 家族支援の展開方法	奥田
15	まとめ	レポート課題等の作成	奥田

【評価方法】

出参加態度 30% 課題のプレゼンテーション 20% 最終課題レポート 50%

【備 考】

教科書：テキストは使用しない。適宜、講義用プリント、資料等を配布する。

参考書：みんなで考える家族・家庭支援論 草野いづみ編著（第2版 2016） 同文書院
社会福祉理論としての家族福祉論 鶴野 隆浩著（2014）みらい

【学習の準備】

回目の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

【実務経験】

奥田かおり（ソーシャルワーカー）片山寛信（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

奥田かおり： 社会福祉施設（母子生活支援施設）、精神保健福祉領域（医療機関）などで家族ソーシャルワーク・グループワークを展開してきた経験を活かし実践的な教育を行う。

片山寛信： 児童養護施設，障害者（児）相談支援事業所におけるソーシャルワーク実践の経験を生かした教育を行う